

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2019年6月3日 発行

■ 本号の内容

- 新入社員研修を実施しています
- 安全意識を高め災害ゼロを目指します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- Jヴィレッジ全面再開！



福島第一・福島第二原子力発電所に配属となった新入社員53名
一つひとつの課題に前向きにチャレンジしていきます

新入社員研修を実施しています



今年4月、新入社員53名※¹が福島第一・福島第二原子力発電所へ配属となりました。新入社員たちは当発電所内の「原子力人財育成センター※²」で、原子力安全を担うために必要な知識や技能を身につけ、約半年の研修を経たのち、各職場へと配属されます。

これからも原子力安全の継続的な向上を図るため、人財の育成に努めてまいります。

※¹ 福島第二に15名、福島第一に38名が配属されました。

※² 当社原子力部門の「人財」を育成するため、2016年12月に設立した組織。



所長の石井から「人と協調し、高い問題意識を持って自ら考え行動することが重要」とのメッセージを伝えました



発電所設備を自分の目で確認し、設備の役割について学びます

新入社員インタビュー

福島第二原子力発電所 新入社員

けい
高木 湊
(楡葉町出身)

子供の頃は
天神岬スポーツ公園で
よく遊んでいました。
将来も楡葉町に住み続け
たいと思っています。

－東京電力を志望した理由は

私は楡葉町で生まれ育ちました。発電所の業務に携わり、福島の復興に少しでも貢献したいと考え、東京電力への入社を決めました。

－入社にあたっての抱負は

自分の力量を一步一步ステップアップさせ、業務のプロフェッショナルを目指して努力していきたいと思います。また、地域の一員として地域の方々にご安心いただけるよう、日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

福島第二原子力発電所 新入社員

りゅうた
園部 隆太
(広野町出身)

趣味はスポーツをすることです。
週に2～3回は
社会人野球チームで
汗を流しています。

－東京電力を志望した理由は

私の父は東京電力に勤めています。働く父の姿を見て、私も地域の復興と社会のために力を尽くしたいと考えるようになり、入社を決意しました。

－入社にあたっての抱負は

今はまだ若輩者の私ですが、自分の行動が、少しでも人のためになれるように、先輩や地域の方にご指導、ご助言をいただきながら、何事にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

安全意識を高め災害ゼロを目指します



当所では、協力企業の皆さまと一体となって、日頃から、作業現場の安全パトロールを行い、危険個所の抽出と改善などの安全活動を実施しています。

それら1年間の活動の総まとめとして、安全意識の高揚ならびに1年間の安全活動を顕彰するため、4月19日、所員と協力企業の皆さまが参加した「安全大会」を開催しました。所長からは、人身・交通安全を呼びかけるとともに、無災害を達成した企業などの表彰を行いました。引き続き発電所一丸となって、労働災害の防止に努めてまいります。



所員と協力企業の皆さまが一堂に参集



人身災害の撲滅・交通安全について呼びかける所長



各種表彰

安全大会

安全大会は毎年実施しており、今回で39回を数えます。当日は、所員39名、協力企業の皆さま60名が参加し、前年度に無災害を達成した24社や安全活動に貢献された2名の功労者に対して表彰を行いました。

発電所構内の空間線量

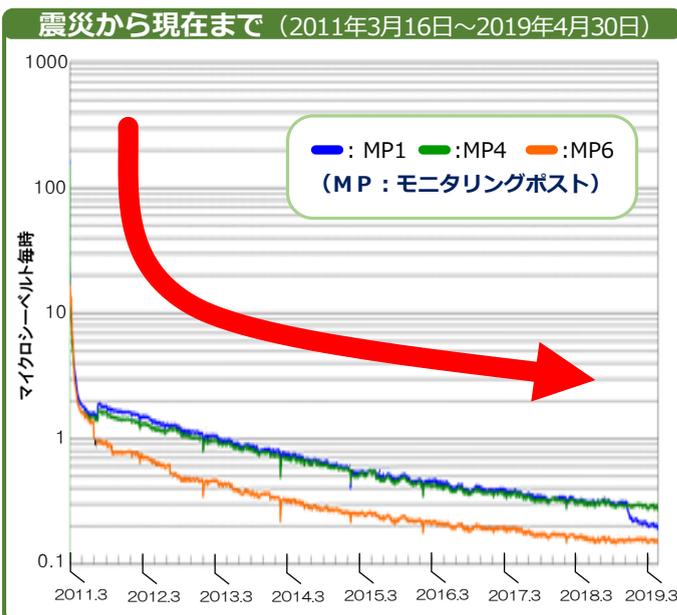
(単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2019年5月28日 時点

0.09 [MP7] ~ 0.31 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (柳瀬困難区域含む)	0.07 ~ 1.94	楢葉町	0.04 ~ 0.24
広野町	0.05 ~ 0.18	川内村	0.05 ~ 0.30

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2019年5月22日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典: 福島県放射能測定マップより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

Jヴィレッジ全面再開!



福島第一原子力発電所の事故直後から、当社が復旧・廃炉作業の拠点として使用させていただいた、サッカーのナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」。

4月20日、約8年ぶりに営業を全面再開しました。当日は、記念式典や音楽ライブなど多彩なイベントが催され、訪れた約2万人の来場者で会場は大いに賑わいました。

また、全面再開の同日、施設の近くにJR常磐線の新駅として「Jヴィレッジ駅」も開業しました。



記念式典の様子



全面再開を祝い空に放たれる風船



サッカー教室が行われたピッチ

当日のイベント

ピッチでは、サッカー教室などが行われ、子供たちが元気に駆け回りました。

また、サッカー女子なでしこリーグの公式戦も行われ、東日本大震災前にJヴィレッジを本拠地として活動していた東京電力女子サッカー部「マリーゼ」に所属していた選手もプレーしました。



Jヴィレッジでは、トレーニング施設やホテルの予約を受付中!
観客席付スタジアムを含めた天然芝ピッチ8面と人工芝ピッチ2面に加え、全天候型練習場、雨天練習場を備えています。



National Training Center
J-VILLAGE

★総合案内・宿泊予約★
<http://www.j-village.jp/>
TEL: 0240-23-7311

編集後記

4月25日に「道の駅ならは」（楡葉町）の温泉保養施設が営業を再開しました。

国道6号線沿いにある施設は、温泉のほか、フードコート、楡葉町産米を使った日本酒や柚子のお菓子など地域の特産品を扱う売店が設けられています。

私も先日、楡葉町の名物「マミーすいとん」をいただき、温泉に入ってきました。私自身が単身赴任中のため、東京にいる家族とも是非一緒に訪れたいと思います。【西】



福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は燃料の安定冷却を継続してまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時 ~ 午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)